

出張報告書

日程

- 10月22日（水）
中部国際空港発
- 10月23日（木）
シドニー国際空港着
- 10月24日（金）
シドニー市役所表敬訪問
ナゴヤガーデンでの植樹式及び記念プレート贈呈
在シドニー日本国総領事館訪問及び意見交換
シドニー市歓迎レセプション（図書交換及び動物写真の拝受）
- 10月25日（土）
JAPAN EXPO 2025
カスタムハウス図書館訪問
- 10月26日（日）
オペラハウス視察（文化施設の視察）
シドニー・名古屋姉妹都市委員会との意見交換
タロンガ動物園訪問（社会教育施設の視察）
- 10月27日（月）
一般財団法人自治体国際化協会シドニー事務所訪問
独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）シドニー事務所訪問及びバランガルー再
開発地区視察（再開発地区・環境先進地区の視察）
- 10月28日（火）
シドニー国際空港発
中部国際空港着

10月24日（金）

○シドニー市役所表敬訪問

場 所：シドニー市役所

目 的：表敬訪問

対応者：ロバート・コック シドニー市議会議員

 リンドン・ガノン シドニー市議会議員他

内 容：

- ・当初、クローバー・ムーア市長を表敬訪問する予定となっていたが、体調不良により、急遽、クローバー・ムーア市長の出席が叶わなくなった。そのため、ロバート・コック市議をトップとする、シドニー市の代表者らを表敬訪問することとなった。
- ・ロバート・コック市議会議員より「シドニー・名古屋姉妹都市提携45周年を、名古屋市長をはじめとする皆さまと一緒に祝いすることができ大変嬉しく思う。先週は、名古屋まつりの姉妹友好都市親善パレードに初めて参加させていただき、名古屋市民との交流を楽しむことができたことに感謝している。」との発言があった
- ・広沢市長からは、ロバート・コック市議とリンドン・ガノン市議に対し、名古屋まつりにご参加いただいたことへの御礼を述べた後、「今後も両市の市民が相互理解と友好親善を深め、50年、100年と末永く、両市の絆を強くしてまいりたいと考えております」と挨拶をした。また、翌日名古屋市が参加するJAPAN EXPO2025へのご支援をお願いした。
- ・さわだ副議長は「45周年という節目をきっかけとして、今後ますます、両市の友好・交流が深まり、未来に向かって、より強い親善の絆で結ばれますよう、名古屋市会として精一杯努めてまいりたい。」と挨拶した。



(表敬訪問の様子)



(シドニー市役所前にて)

○ナゴヤガーデンでの植樹式及び記念プレート贈呈

場 所：ナゴヤガーデン

目 的：姉妹都市提携45周年を記念した植樹式及びプレート贈呈

内 容：

- ・名古屋市より姉妹都市提携45周年を記念して、ナゴヤガーデンに設置する「記念プレート」と「サザンカ（シシガシラ）及びシャリンバイ」の贈呈を行った。
- ・シドニー市より、元シドニー名古屋姉妹都市委員会の委員で、2021年4月に亡くなるまで長年姉妹都市の活動をサポートしていただいていたキリン・トンジ氏を追悼するために、サザンカ（セツゲッカ）が贈られた。
- ・これらの植物はナゴヤガーデン南側の花壇に植樹され、それを記念した植樹式が開かれた。なお、植樹式にはシドニー市を代表してロバート・コック市議及びリンドン・ガノン市議が出席したほか、キリン・トンジ氏のご家族も参加した。



(記念プレートの贈呈)



(植樹式の様子)

○在シドニー日本国総領事館訪問及び意見交換

場 所：在シドニー日本国総領事館

目 的：表敬訪問及び意見交換

対応者：西田 雄一郎 首席領事

生田 大悟 領事

内 容：

- ・広沢市長より、名古屋市とシドニー市が姉妹都市提携45周年を迎えたことのご報告、及びこれまでのシドニー市との姉妹都市交流へのご支援についてお礼を伝えた。
- ・また、先日名古屋市にて開催された「姉妹都市提携45周年記念植樹式」及び「姉妹友好都市親善使節団歓迎レセプション」に、山中総領事がご出席いただいたことについても、改めてお礼を申し上げた。
- ・西田首席領事より、日豪の歴史や、最新の日豪間の旅行者数の推移、また豪州における日本語教育の現状（日本語学習者の人口比は世界最多）などについてご説明いただいた後、意見交換を行った。



(在シドニー日本国総領事館にて記念撮影)

○シドニー市歓迎レセプション

場 所：シドニー市役所

目 的：姉妹都市提携45周年を祝うため

対応者：ジェス・ミラー シドニー市副市長

ロバート・コック シドニー市議

リンドン・ガノン シドニー市議他

内 容：

- ・ジェス・ミラー副市長より、「シドニー・名古屋姉妹都市提携45周年を祝うため、名古屋市長をはじめとする皆さまを、シドニー市役所にてお迎えできたことを光栄に思う」との発言があった。
- ・2023年12月に締結した「カスタムハウス図書館と名古屋市鶴舞中央図書館の知識交換開始における覚書」に基づき、両図書館による図書交換が行われた。
- ・シドニー市より、東山動植物園とタロンガ動物園の動物を写した写真パネルの贈呈を受けた。
- ・広沢市長からは、姉妹都市提携50周年に向けた両都市間における機運醸成についての協力をお願いした。



(図書交換の様子)



(写真パネルの贈呈)

○10月25日(土)

○JAPAN EXPO 2025

場 所：シドニー市役所

目 的：名古屋市PRのため

参加者：ロバート・コック シドニー市議

西田 雄一郎 在シドニー日本国総領事館首席領事

ワーウィック・ミラー シドニー・名古屋姉妹都市委員会委員長他

内 容：

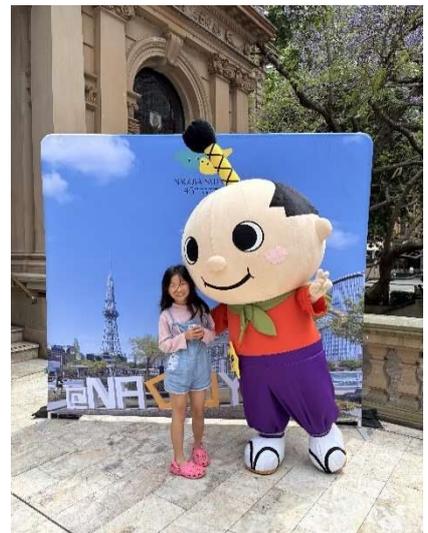
- ・今年で5回目の開催となるJAPAN EXPO 2025に参加し、オープニングセレモニーにて広沢市長が挨拶したほか、名古屋市ブースを出展した。
- ・オープニングセレモニーにはロバート・コックシドニー市議会議員、在シドニー日本国総領事館の西田首席領事、シドニー・名古屋姉妹都市委員会ワーウィック・ミラー委員長などが登壇し、鏡開きが行われた。
- ・広沢市長による開会挨拶では、「名古屋の魅力を感じていただき、次の日本への旅行の際にはぜひ、名古屋へ足をお運びください」との発言があった。
- ・名古屋市ブースでは観光推進課及び（公財）名古屋観光コンベンションビューローが名古屋の魅力を紹介したほか、名古屋めしの試食会や、名古屋市をテーマにした「折り紙クイズ大会」を開催するなど、幅広く名古屋をPRした。
- ・東海旅客鉄道株式会社（JR東海）、公益社団法人名古屋青年会議所（JCI名古屋）といった名古屋にゆかりのある団体と一体となって、当地域をPRした。
- ・当日は、姉妹都市提携45周年を周知する看板や、はち丸くん着ぐるみとのフォトスポットが設置され、またシドニーと名古屋の往復航空券が当たる抽選会が開催されるなど、名古屋を全面に押し出した形での開催であった。
- ・イベントの様子は現地の日本のメディアを中心に大きく報道された。



(鏡開き)



(名古屋めしの試食会)



(フォトスポット)

○カスタムハウス図書館訪問

場 所：カスタムハウス図書館

目 的：施設見学及び図書交換へのお礼

対応者：パウラ・プフェッファー カスタムハウス図書館戦略計画マネージャー

内 容：

- ・パウラ・プフェッファーマネージャーより、カスタムハウス（1845～1990年に使用されたオーストラリア最初の税関）についての説明及び1階に展示されているシドニー市の街並みジオラマについての紹介を受けた。
- ・カスタムハウス図書館にある約45,000千冊の蔵書のうち、約5,500冊が日本の本であり、今回、鶴舞中央図書館よりさらに11冊の図書の贈呈を行った。また、カスタムハウス図書館からも図書10冊をいただいた。その他、名古屋市公式代表団の来館を記念し、日本語で作成された「名古屋市向け2025年図書館報告書」の贈呈を受けた。



(シドニー市の街並みジオラマ)



(カスタムハウス前にて記念撮影)

○10月26日(日)

○オペラハウス視察

場 所：シドニーオペラハウス

目 的：本市の文化施設運営に係る施策の参考とするため

内 容：

- ・ガイドより、オペラハウスは1973年10月に完成した世界で最も建造年代が新しい世界遺産で、外観は船の帆をイメージしており、内部はマヤ文明など古代建築の影響を受けている建造物であること、さらに年間1、600回以上の公演が行われ、年間来場者数は約1、090万人にのぼることなどの説明を受けた。
- ・建物完成後にバリアフリー対策としてエレベーターを設置することとなり、狭いスペースでも取付けが可能な油圧式エレベーターが採用されている。



(オペラハウス内観)



(オペラハウス外観)

○シドニー・名古屋姉妹都市委員会との意見交換

目 的：今後の姉妹都市交流に関する意見交換

対応者：ワーウィック・ミラー シドニー名古屋姉妹都市委員会委員長

ロバート・コック シドニー市会議員他

内 容：

- ・シドニー市と名古屋市の交流の架け橋となっただいているシドニー・名古屋姉妹都市委員会の方々と今後の交流について意見交換を行った。
- ・市長より、名古屋まつりに参加いただいたこと、JAPAN EXPOの名古屋ブースの運営に尽力いただいたことなどに対して感謝の意を伝えたほか、5年後の姉妹都市提携50周年に向けて、引き続き連協強化をお願いした。
- ・ミラー委員長より、シドニーの学生の名古屋への派遣や、交換留学など、若い世代の交流をさらに増やしていきたいとの意見があった。



(ワーウィック委員長からの挨拶の様子)

○タロンガ動物園訪問

場 所：タロンガ動物園

目 的：東山動物園の姉妹動物園であるタロンガ動物園への訪問

対応者：ニック・ボイル タロンガ動物園長他

内 容：

- ・ニック・ボイル園長より、タロンガ動物園の概要説明及び園内を案内していただいた。
また、動物たちを間近で観察しながら、学習することができるスペース及びタロンガ科学学習研究所を視察した。ボイル園長より、市民に動物を紹介するだけでなく、繁殖の保全活動や教育、研究もタロンガ動物園の重要な役割であるとのコメントがあった。
- ・タロンガ動物園では入園料収入以外にも、園内に張り巡らされたジップラインの利用料や、園内にあるホテル事業の収入など、収入の多角化に取り組んでいるとの説明があった。
- ・市長からは、昨年開催されたコアラ来園40周年記念式典へ参加いただいたことに対するお礼や、姉妹動物園であるタロンガ動物園と東山動物園との交流は、多くの市民の笑顔を生み出してきた、大変重要な交流であることを伝えたほか、東山動物園とタロンガ動物園の職員の相互派遣再開についてお願いした。



(体験型学習スペース視察の様子)

○10月27日（月）

○一般財団法人自治体国際化協会シドニー事務所訪問

場 所：一般財団法人自治体国際化協会シドニー事務所

目 的：シドニー市の最新情報の収集

対応者：光永 祐子 所長

西川 修平 次長

内 容：

- ・市長より、これまでの名古屋市とシドニー市との姉妹都市交流に対するご支援、ならびに JAPAN EXPO 2025 へのご協力に対し、御礼を申し上げた。また、名古屋市からクレアシドニー事務所に派遣している西川次長の受け入れについても、感謝の言葉を述べた。
- ・光永所長及び西川次長より、オーストラリアやシドニー市の概況や、オーストラリア多文化主義、また他都市の姉妹（友好）都市の交流についてなど、ご説明していただいた。
- ・その後、インバウンド施策についての意見交換や、今後の名古屋市とシドニー市との姉妹都市交流に関する懇談を行った。
- ・光永所長から「名古屋市の姉妹都市交流は非常に活発的であり、他都市の参考になっている。」とのコメントがあった。



（ブリーフィングの様子）



（クレアシドニー事務所にて記念撮影）

○独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）シドニー事務所訪問

場 所：UR都市機構シドニー事務所

目 的：シドニー地区における都市開発についての情報収集

対応者：藤田 志具麻 所長

内 容：

- ・市長より、「これまで蓄積されてきた都市開発のノウハウを活かし、西シドニー地区のプロジェクトに携わっていただけること、またニューサウスウェールズ州政府との関係強化を進めておられると伺い、大変興味を持っている。今後の都市開発において、御機構のシドニー市での取組みを参考にさせていただきたい。」との挨拶があった。
- ・続いて、藤田所長より、UR都市機構による海外展開支援の取組みや西シドニー開発の概要について説明があった。また、シドニーCBD（Central Business District）北西部に位置する balan 再開発プロジェクトについて、名古屋市との比較資料を用いた説明が行われた。
- ・その後、実際に balan 再開発地区を訪れ、商業施設、遊歩道、公園、地下鉄駅などを視察しながら意見交換を行った。



(打ち合わせの様子)



(balan 再開発地区の視察)